



D S P J A P A N

VCube の設定方法

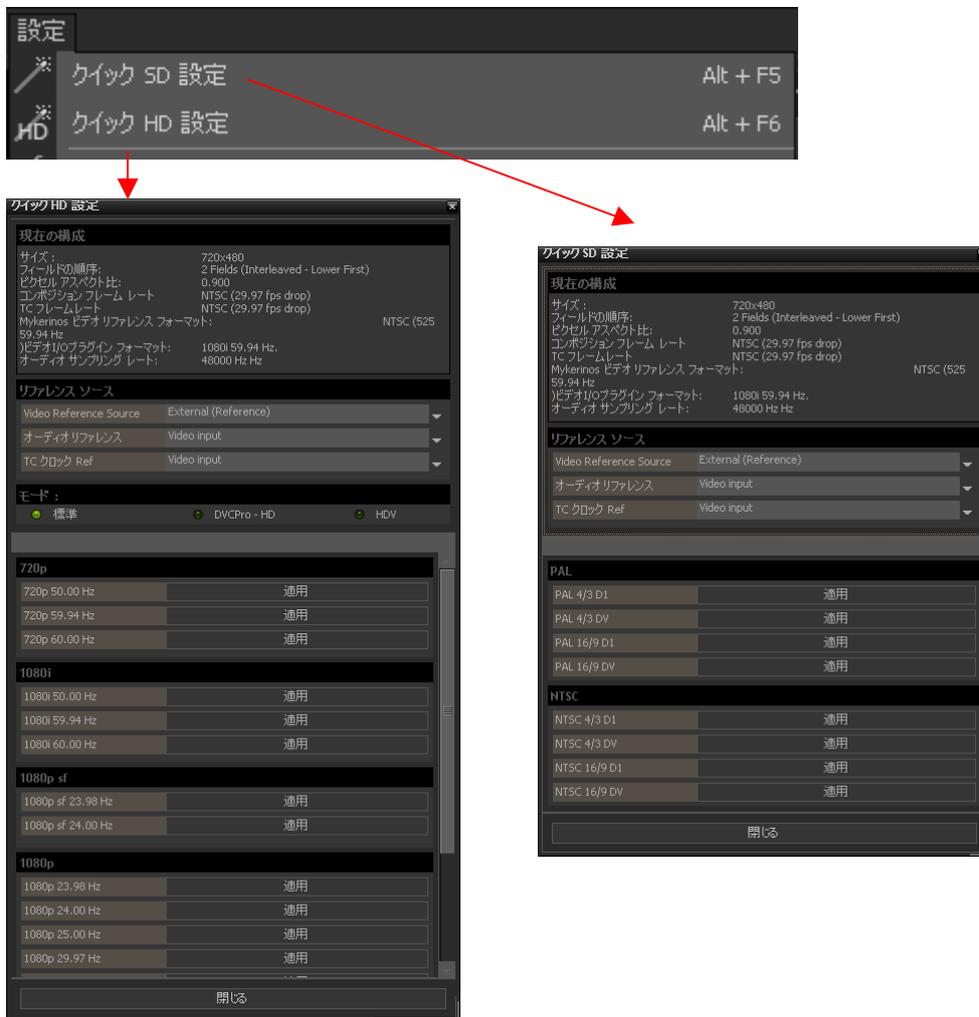
Vcube は、さまざまなビデオフォーマットに対応しています。

これらのビデオフォーマットは、入力や出力を含め、作業環境が大きく異なります。

作業環境をプリセットにより一気に変更して使用することができます。

この情報は、Vcube の作業環境を変更するプリセットの作り方について解説しています。

1. メニューの設定から、「クイック SD 設定」か「クイック HD 設定」を呼び出します。



これらの中から、最も適当なフォーマットをマウスのクリックにより選択します。

選択が有効になると、「現在の構成」の枠部分がグリーンに点滅します。

次に、「リファレンスソース」も「External」など、適当なパラメーターに選択します。



D S P J A P A N

2. タイムコード タイプとマシンコントロールの設定

次にタイムコードのタイプとマシンコントロール/リモートコントロールの設定を行います。
設定タブの「フォーマット&シンクロ」の中を設定します。



コンポジション フレームレートでドロップ/ノンドロップを選択します。

「Sony 9Pin リモートコントロール」にチェックを入れると、Vcube はスレーブ（デバイス）となります。

「Sony 9Pin マシンコントロール」にチェックを入れると、Vcube はマスター（コントローラ）となります。

どちらかにチェックを入れ、「設定」の中で正しい COM ポートを設定してください。



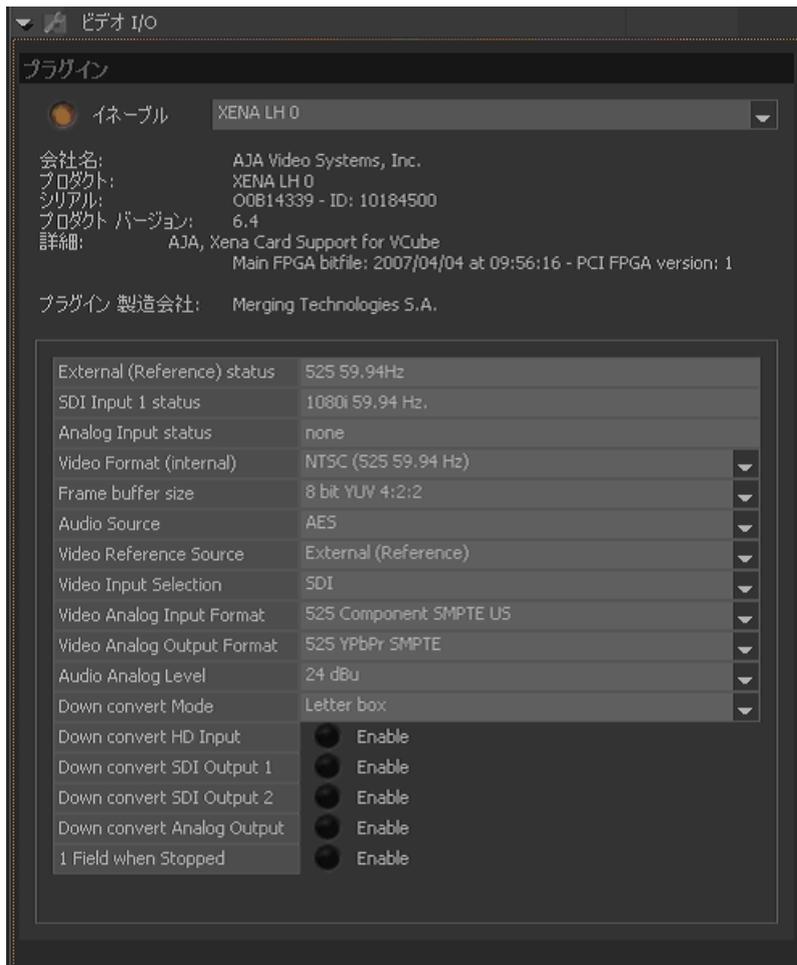
D S P J A P A N

3. ビデオプラグインを設定

Vcube では、様々なキャプチャーボードをハードウェアプラグインとして扱っています。

クイック設定の後に、このキャプチャーボードの設定を正しく行う必要があります。

設定タブの「ビデオ I/O」を設定します。



設定するの項目は、

- Video Format 録画するビデオフォーマット
- Audio Source (必要なら) オーディオの取り口
- Video Reference Source ビデオリファレンスソースの取り口
- Video Input Selection ビデオ入力のコネクタ
- Video Input Format 入力するビデオの形式
- Video Output Format 出力するビデオの形式

などです。



D S P J A P A N

4. オーバーレイの設定

オーバーレイは、TC 表示やウォーターマークの表示形式や On/Off の設定です。

これらをプリセットに入れたい場合は、設定タブの「オーバーレイ」と「コンポジション」で適当に設定してください。



5. 最後に、録画/録音するファイルの保存場所とそれぞれのフォーマットを設定します。

これらは、画面下のレコードタブで設定を行います。



- 「記録パス」は、保存先のディレクトリーを
- 「ファイルネーム」と「カウンター」は、保存するファイルの名前を決定します。

「ビデオ」セクションの「コンプレッション」は、圧縮形式を決定します。

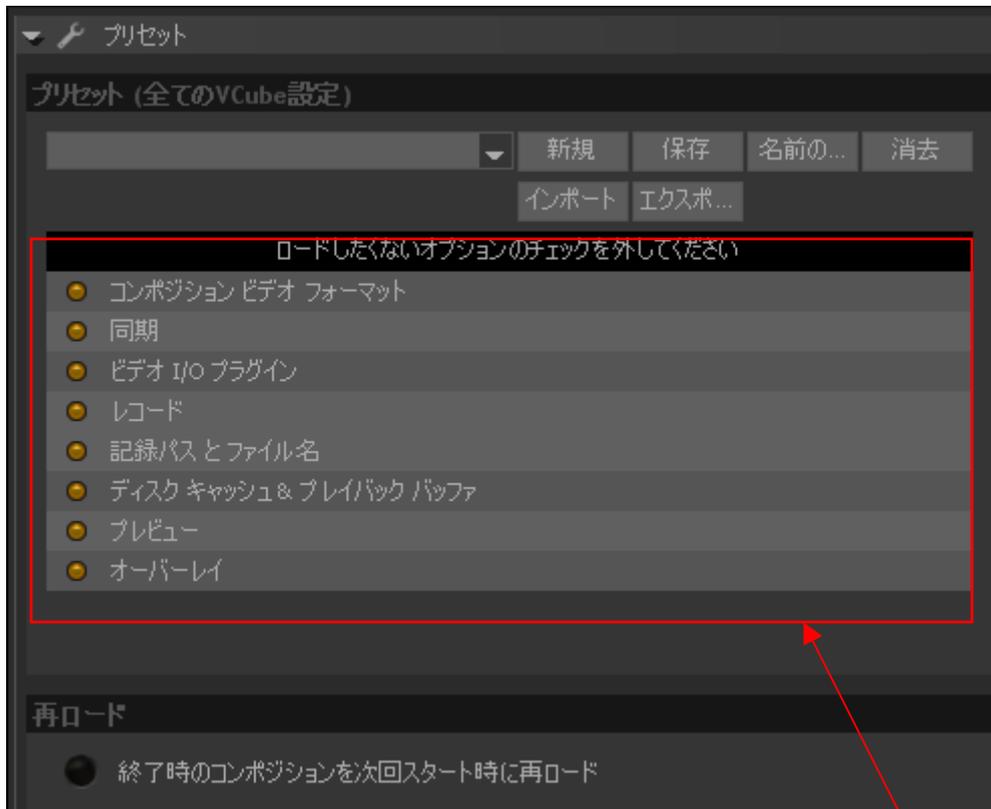


D S P J A P A N

6. プリセットの保存

以上の項目を設定したら、設定タブに戻り、「新規」をクリックします。

左上の欄が、白色に反転しますので、適当な名前を入れ、「保存」をクリックします。



次回、プリセットを呼び出す時に、呼び出したいくないプリセットの項目があれば、この中のチェックを外します。